

日加修交五〇周年記念

懸賞論文募集によせて

日加協会運営委員長

小松 誠



「日本とカナダの橋渡しになるような仕事を」と、お訪ね下さる方が、最近とみに増えてきている。

日加両国が正式に外交関係を樹立してから、今年はずいぶん五〇周年に当る。

この間の、両国間の諸般の關係は、既刊の本紙日加国交五〇周年特別号に、興味深く、いろいろの角度から紹介されている。

両国間のかけ橋になった先達は、公人、民間人を問わず、それぞれの立場と能力

で、今日の盛んな日加関係を築く礎石となってきたのであるが、現在もなお、多くの人々が両国間の理解と発展のために献身しようとしている。

これは、とりもなおさず、お互いの間に、十分な理解と認識が不足していることの証拠であると共に、今後さらにあらゆる面で、緊密な結びつきが出来、相互依存の關係が深まることを意味するものと考えられる。

応募要項

- 課題 (1) これからの日加関係 (2) 私とカナダ
- 枚数 400字詰原稿用紙15枚以内
- 締切 昭和54年9月15日
- 賞 入賞 2名
賞金 各20万円(税込み)
副賞 東京・カナダ往復航空券(モントリオールまで)
- 佳作 5名
賞金 各5万円(税込み)
副賞 協賛各社の賞品
- 宛先 〒100 東京都千代田区永田町 2-17-3 堤フラッツ 201号
日加協会「懸賞論文」係
(電) 03-581-0925・1694

この機会に、日加協会は、国交五〇周年を記念して、日加關係に対する関心を一段とたかめ、日加両国民の相互理解を促進するために、広く一般から懸賞論文の募

集を実施している。

その目的は、あくまで国民一般に、あらためて日加關係に注目を集め、まだまだ知られていないカナダを知って頂き、相互依存度の高い両国間の關係に認識を深めて頂くことにある。論文と言っても、必ずしも高度な学問的研究を要求するものではないことは、もちろんである。

したがって、中学、高校生から、一般社会人まで、性別を問わず、それぞれの立場と関心をもって、課題にとり組んで頂きたいと願っている。外国人からの応募も自由であるが、論文記述は日本語に限られる。

課題の(1)は、日加關係の展望と、建設的な提案を主題とし、各分野で活躍しておられる一般社会人からの応募が期待される。多分に、政治、経済、社会、文化をはじめ、各方面にわたる、具体的示唆に富んだ論作が集まるものと思われるが、論文原稿の枚数制限があるので、要領よくまとめるのも肝要な条件となろう。

課題の(2)は個人的経験や知識をもとにしたものであるから、内容は千差万別であらゆる階層の人々から多数の応募が期待されるが、それだけに密度の高い作品が選ばれることになろう。

応募は、いずれの課題をとってもよく、また両方に応募してもさし支えない。入賞者、佳作入選者は、十月下旬から十一月頃に予定している「日加修交五〇周年記念懸賞論文発表会」で表彰され、その作品は、本紙その他の刊行物に掲載発表される予定である。

日加協会が、外務省及び在日カナダ大使館の後援を得て、この懸賞論文の募集を企画したところ、カナダ太平洋航空他会員企業多数の協賛を得、関係者は非常に勇気づけられている。

協会も一昨年、創立二十五周年を祝い、以来鋭意会員の拡充と共に、有意義な運営を企図しているところで、この論文募集計画も協会活動の重要行事として、多大な成果を期待している。

進んで日加両国のかげ橋になろうと、あらゆる面で献身を惜しまない多くの方々と共に、協会も表裏一体となって、更に深い相互理解と、友好親善のために努力をし、活動の輪をひろげてゆきたいものと考えている。

読者の皆様は、奮ってご応募下さると共に、知友の方々に呼びかけて、一人でも多くの方にこのエッセイ・コンテストを知って頂ければ幸いです。

大使館案内

当大使館には、次の資料にまだ残部があるので、希望者はハガキで請求された。いずれも無料。

小冊子「近代カナダの歩み」

背景説明レポート No.3「カナダの政党」、No.5「カナダ経済の見通し」、No.6「カナダ連邦主義とケベック」、No.7「カナダ経済」、No.8「多様文化の国カナダ」、No.9「カナダ経済の現況」

広報紙「カナダ」日系カナダ人特集、カナダ文学特集、カナダと日本特集、国交五〇周年特集、クラック首相・サミット特集。